



「教育目標」と「今年度の重点」に向けて

【教育目標】

自ら学び 心豊かに たくましく歩む子どもの育成

【今年度の重点】

発揮したい力

自分の考えを持つ力・協働的に取り組む力・チャレンジする力・振り返る力

みんなの約束

自分がされて いやなことは 人にしない 言わない

徳

豊かな人間性

多様性を認め合う

【数値目標】Q-U学級満足群60%以上

- 自己肯定感の醸成[学活・創意]
 - 学級活動(1)完全実施と系統的指導
 - 学級の時間の意図的な実施
 - 縦割り班活動の計画的な実施
- 自分の成長の意味づけ[道徳]
 - 今日(今週)のキラキラの継続的な実施

体

健康・体力

自分の体を大事にする

【数値目標】体力テスト全学級全国平均以上

- 日常的な運動・遊び[体育]
 - 体育授業の系統的指導(運動身体プログラム)
 - 朝や昼休みの運動・遊びの推進
- 自分や他者の命を守る教育[保健・安全]
 - 健康チェックの実施(カード・自分手帳)
 - 月1回、安全の日(11日)実施

知

資質・能力の育成

学びに夢中になる

【数値目標】アンダー7チーパ0%・読書月5冊以上

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ① 自分の考えを持つ。
- ② 友達と協働的に取り組む。
- ③ 目標を持ち、挑戦する。
- ④ 振り返り、次に生かす。

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ① 比較し関連付け、物事を多角的・多面的に考えようとしている。
- ② 異なる考えを取り入れ、自分の考えを伝え協力しながら学んでいる。
- ③ 学びを自分事として捉え、課題を持って取り組もうとしている。
- ④ 自分の学びを意味づけ、多方面で生かそうとしている。

子供の思いや願い

- 分かる・できるようになりたい
 - 認めてほしい ○聴いてほしい
 - いじめ(悪口や暴力)はいやだ
- 保護者や地域の思いや願い**
- いじめのない安心な学校がよい
 - 学校や子供は地域の宝で大切だ

子供の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- ～すべての子供の学習権を保障する～
- 全職員でチーム対応「みんなで育てる」・支援員、協力員、ハートサポート等
 - 教育的ニーズに応じたきめ細やかな支援・QU等の調査・相談・ケース会等情報共有

目指す子供の姿

- 自分の考えをもつ子
- 友達と協働的に取り組む子
- 何事にも興味を持ってチャレンジする子
- 自分や友達の言動を振り返り、よさを次に生かそうとする子

何を学ぶか

○教育課程の編成

- ◎言語能力の育成(聞く・読む・書く・話す・語彙獲得・教科語句活用等)
- 情報活用能力の育成(収集・整理・技術・モラル等)
- 問題発見・解決能力の育成(問題を見出し、解決方法を探し計画、実行等)

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- 1 単元のまとまりを大切に授業の充実[学力]
 - ・習得・活用・探究という学びの過程
- 2 ノート指導(振り返り記述)[学力]
- 3 生活科・総合を核とした横断的な学び[生活・総合]
- 4 読書・家庭学習の習慣化[図書館・学力]

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 現職教育・校内研修、校外研修参加による学び続ける教師集団
- 迅速、適切な初期対応・チーム対応
- 「共に子供を育てるパートナー」として、保護者・地域・児童養護施設との連携・双方向の協力・協働
- 幼保小中連携事業(庭塚幼・にわかさこども園・水保小・庭塚小・吾妻中)の積極的推進

安心・安全を守る

- 校内外の環境整備(整理・整頓・清潔・清掃・修繕等)
- いじめのない、居場所のある安心な学級・学校
- ・健康観察のフルネーム呼名 親和的な学級

開かれた学校づくり

- 地域人材、地域教材を生かした学校づくり
- 保護者・地域への積極的な情報発信
- ・学校だより・HP・授業参観・フリー参観等